

発行 公益財団法人 周南市文化振興財団

山口県周南市徳山5854-41 (0834-22-8787) <http://s-bunka.jp/top/>

【美術博物館】山口県周南市花島町10-16 (0834-22-8880) <http://s-bunka.jp/bihaku/>

【郷土美術資料館・尾崎正章記念館】山口県周南市富田永源 (TOSOH PARK 永源山内) (0834-62-3119) <http://s-bunka.jp/kyoubi/>

まど・みちおの

つたえたかったこと

―楽譜に残した童謡があった―



JASRAC 出 24092431401

うれしい時、悲しい時、どんな時でも歌は身近にありました。

音楽との出会いは、尋常小学校時代、唱歌が一番のお気に入りでした。明治、大正、昭和、平成と駆け抜けた、詩人まど・みちおの人生にとって音楽とは…。

2023年、まどさんが作曲した幻の童謡「コスモスのうた」が見つかって以来、その音楽性に強く惹かれるようになりました。

詩人になる前のことです。台湾総督府に採用された20代初め。すでに台北ホリネス教会の礼拝などでオルガンを弾いていたというから驚きです。この頃には音楽的な基礎はほぼ出来あがっていたものと思われれます。戦後は、童謡詩人として名を馳せますが、作詞家の領分をわきまえ、童謡の半分は作曲者の創造物として、詞に新たな生命を吹き込んでくれると音楽の力を信じていました。

たとえば、童謡「そうさん」は團伊玖磨さんが作曲者です。当時の童謡は二拍子が一般的でしたが、詞を読み即座に出てきたリズムが三拍子だったのです。詞にも音楽的な要素が具わっていたのか、作曲するのに何分もかからなかったと言われています。皆さんの大好きな象さんの愛くるしい母子像と長い鼻がブーラブーラ揺れるメロディーが心地よく相まって全国津々浦々にまで広がっていきました。

まどさんの詞は、子どもの言葉で子どもたちにも理解できる内容で心理や心情を謳うのが特徴です。ですから子どもたちがいつも口ずさめる童謡づくりを心がけていました。原稿用紙に向かい詞を練っていると、思わず、ハツとするメロディーやリ

ズムが浮かんでくることがありました。このままだとすぐに消えてしまいます。そこは少しは楽譜も書けることから何曲かは、残しておきたい童謡があったのではないのでしょうか。

百寿を前に、まどさんは自作の童謡は3曲あると語っています。

一番知られているのが、1943年作「ボンガビリア」。台湾で召集され、戦地に向かう途中の寄港地・マニラ市街のいたるところに咲いていたブーゲンビリアのことを歌っています。戦争の恐怖も忘れその美しさに息を呑んだそうです。急いで作曲し葉書に楽譜を書き込み妻に送ったからこそ残ったものです。

2曲目は1937年作「れんぶ」。タイトルは台湾ではポピュラーな果実の名前で、赤、緑、黒とあり味覚はリンゴに似ているそうです。詞だけしか残っていませんが、子どもたちの食べる様子を4連の詞で表現しています。

3曲目は「やみふける」。残念ながらタイトルだけで詞も曲もまったく分かりません。そして、没後に見つけたのが前出の「コスモスのうた」。歌曲集も出版されていました。

楽譜のある2曲については、詞の語りや音楽的にできる限り純化させた親しみのある曲調で誰もが歌える童謡に仕上がっていました。

最後に、最近の調査で分かったことがあります。祖父のもとへ一人残された幼少期。寂しい暮らしの中でよく歌を歌ってくれたそうです。孫息子への細やかな心遣いでした。

まどさんの豊かな楽興の背景が少し分かったような気がしました。(周南市美術博物館館長 有田順)



令和6年度 周南市学校美術展

観覧無料

周南市内の園児・児童・生徒の作品を展示する、子どもたちの総合美術展です。
色彩豊かな絵画や立体作品が展示室いっぱいに広がります。
子どもたちの個性あふれる作品をぜひご覧ください。

- 会場 周南市美術博物館 展示室1・2・3
- 会期 12月6日(金)～8日(日) 9:30～17:00(入場は16:30まで)

昨年の展示風景



【第22回 周南市美術展2024】作品募集中

美術展に出品してみませんか?平面・立体・書・写真の作品を募集しています!

事前申し込みが必要です。作品の搬入・搬出は日時指定となります。

● 申込期間 12月27日(金)必着 **事前申込**

● 開催要項の配布場所

市役所本庁舎、各総合支所、各市民センター、
学び・交流プラザ、新南陽ふれあいセンター、文化会館、
美術博物館等
周南市ホームページからもダウンロードできます

<https://www.city.shunan.lg.jp/uploaded/attachment/102688.pdf>

● 応募方法 3つの方法があります

1 ホームページから申し込み

周南市ホームページの「第22回周南市美術展2024」出品申込フォーム
に必要事項を入力して送信してください。

2 郵送またはFAXで申し込み

開催要項に付属の出品申込書及び応募部門の
データ票を記入し、郵送またはFAXでお送りください。
郵送先/〒745-8655 周南市岐山通1丁目1番地

周南市文化振興課文化振興担当宛

FAX/0834-22-8428(周南市文化振興課)



市ホームページ



出品申込フォーム

3 持参する

開催要項に付属の出品申込書及び応募部門のデータ票を記入し、市役所の
周南市文化振興課または周南市美術博物館に持参してください。

※開庁、開館時間内をお願いします。※その他の応募方法については、文化振興課へお電話でご相談ください。

● 作品搬入 令和7年1月31日(金)・2月1日(土)

申込期間終了後、指定日時を文書で連絡します。

指定の日時に搬入してください。

● 作品搬出 搬出についても日時を指定させていただきます。

● 審査会 令和7年2月2日(日)に公開審査を行い、入選作品と各賞を決定
します。見学申込の詳細については、第22回周南市美術展2024公開審
査会の見学募集ページ(後日公開予定)に掲載します。

● 会期 **前期(平面・立体) 令和7年2月12日(水)～16日(日)**
後期(書・写真) 令和7年2月19日(水)～23日(日・祝)

※月曜休館

● 問合せ先 文化振興課(文化振興担当) TEL/0834-22-8622

※最新情報は、市と美術博物館のホームページでご確認ください。

※出品資格、応募企画、出品料等詳細は開催要項をご確認ください。

第33回林忠彦賞

社会は心を撃つ写真をさがしています

作品募集

Who is the next ?

2024年12月31日(火)必着!!

■資格 国内居住であれば、アマチュア、プロ、年齢、性別、国籍を問いません。

■テーマ 自由

■対象 以下①、②の条件を満たすもの

①2024年1月1日～12月31日に写真展、写真集、雑誌、公募等の表現媒体ですでに発表
された作品。②受賞記念写真展を開催する関係上、同一テーマで35枚以上から70枚程度
までの写真で構成された作品。

■選考委員

●大石芳野 写真家 ●笠原美智子 長野県立美術館館長
●河野和典 (公社)日本写真協会出版広報委員 ●小林紀晴 写真家
●有田順一 周南市美術博物館館長 (敬称略)

■賞

ブロンズ像(笹戸千津子作「爽」)及び賞金100万円

■選考発表

選考後、受賞者に通知するとともに各報道機関に発表します。(2025年
3月上旬予定)授賞式と受賞記念写真展は周南市で開催します。
受賞作品は、銀塩ペーパー・小全紙サイズで再制作し、林忠彦コレクション
として周南市美術博物館に永久保存します。



第32回(前回)受賞作
「BENZO ESQUISSES
1920-2012」
奥山 淳志

募集要項・歴代受賞作品などの詳細や最新情報はホームページをご覧ください。応募用紙のダウンロードもできます。

<http://hayashi-award.com/>

応募先/問合せ先…林忠彦賞事務局(周南市美術博物館)

〒745-0006 周南市花島町10-16 TEL(0834)22-8880 FAX(0834)22-8886



LAWSON

クリスマスケーキ・おせち

ご予約承り中

Uchii Café × 森半
お抹茶ケーキ(4号相当)
ローソン標準価格税抜 3,722円(税込4,020円)

お肉とシーフードを楽しむオードブル
ローソン標準価格【店頭】
税抜14,352円(税込15,500円)

ローソン徳山動物園前店 0834-32-8363

※画像はイメージです。

美博クイズ〜!〈131〉 もんだい

しゅうなん し しゅう しん しゃ しん か はやし ただ ひこ ふう けい
周南市出身の写真家・林忠彦の風景
写真で、林にとって最後となった
写真集のタイトルは?

ヒント 1990年に出版されたよ。

周南市美術博物館
常設展示

- 常設展観覧料：一般200円(160円) 大学生等100円(80円) ()内は20名以上の団体
 ※18歳以下および70歳以上無料
 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日：月曜日 ※年末年始(12/29~1/3)

展示室 3 コレクション展示室

コレクション展～小さなしあわせ♡
12/14(土)～1/26(日)

「世界幸福度ランキング」※で7年連続1位のフィンランド。その秘密は…。そもそもフィンランドの人は幸せを感じる基準がとてシンプルなのだそうです。太陽の恵みに感謝し、新鮮な空気を胸いっぱい吸って森を散策する。日常のささやかな喜びに心を向け、立ち止まって小さな幸せをみつめる。今回は小さな幸せを感じていただけるような作品を集めてみました。

※『世界幸福度報告(World Happiness Report)』(国連 SDSN)より



松田正平「あけびといちじく」油彩・キャンバス

展示室 4 林忠彦記念室

長州路 2/28(金)まで

林忠彦は、もともと旅が好きだったこともあり、『長崎一海と十字架』(1980年 集英社)で風景写真に挑戦します。続いて出版されたのが『若き修羅たちの里一長州路』(1981年 講談社)でした。

「松陰や、高杉晋作らがワラジばきで長州路を歩く姿が、風景の中に感じられる写真を撮りたかった。」(中国新聞「私の道」1989年12月10日)と林が記しているように、風景の中に人々の暮らしやかつてそこにいた人物を感じられる作品は、私たちに歴史や志士の思いを語りかけてくるようです。



旭村杖坂附近(旧山口街道) 撮影 林忠彦

展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の
展示は12/28(土)まで

まどさんから詩人の谷川俊太郎さんに送られたはがきを展示しています。

まどさんが本心を吐露している部分もあり、2人の親しい関係性がうかがえます。

びびびの美
(2024年10月後半号)



びびびの美(2024年11月前半号)
「ひより雨の歌」を紹介しています。
こちらからご覧いただけます。



「ひより雨の歌」1962年
水彩、フェルトペン、鉛筆・紙

徳山の歴史 特設コーナー

「描かれた児玉源太郎」 12/28(土)まで展示中

司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』を実写化したスペシャルドラマが、NHKで放送されているのになみ、「描かれた児玉源太郎」と題して、児玉源太郎のブロンズ像や錦絵などを展示しています。

展示資料：奉天入城ポスター、騎馬像、肖像写真
錦絵「熊本城ノ将校賊軍嘲罵之図」、
松岡洋右「児玉源太郎大将」(雑誌『小学一年生』1938年)



周南市美術博物館 その他の12月の展覧会 9:30~17:00(入館は16:30まで)

観覧無料

- 第20回周南書道連盟展..... 12/13(金)～15(日)(最終日は15:30終了)【展示室1・2】
- 第61回二科会写真部山口支部 公募写真展..... 12/19(木)～22(日)(最終日は16:00終了)【展示室1】

美博クイズ～!〈131〉 こたえ

『東海道』だよ。

1990年9月に出版されたよ。この年の12月18日に林忠彦は亡くなったんだ。『東海道』の中の「杉並木<箱根>」「平安神宮」が撮影機材といっしょに、林忠彦記念室に展示されているのでぜひ観てね。

演奏堂

CD・DVD・テープ他
販売専門店

周南市銀南街43
TEL・FAX 0834-21-7559



ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

周南市学校美術展 12/6(金)~8(日)

第20回周南書道連盟展 12/13(金)~15(日)

第61回二科会写真部山口支部 公募写真展
12/19(木)~22(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

空調工事等のため、2025年1月10日まで休館

防府

毛利博物館 ☎0835-22-0001

特別展「国宝」 ~12/2(月)

企画展「毛利家のお正月」 12/6(金)~1/20(月)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

吉村芳生一日々、写しつづけてー ~12/25(水)

坂井眞理子展 いのちの色、いのちのかたち ~1/26(日)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

浦上コレクション 東洋陶磁の美 ~12/22(日)

龍__伝説への道 ~12/22(日)

萩博物館 ☎0838-25-6447

萩博物館開館20周年記念企画展「幕末維新の秋-小川コレクションから-」 ~12/8(日)

阿武川歴史民俗資料館開館(阿武川ダム建設)
50周年記念企画展「ふるさと萩の継承-
阿武川流域のくらし-」 12/21(土)~3/2(日)

長門

香月泰男美術館 ☎0837-43-2500

没後50年香月泰男展
第三期1966→1974 ~1/13(月・祝)

下関

下関市立美術館 ☎083-245-4131

所蔵品展「われわれの根源は、森の奥にあり——
ガレ、高島北海と自然を愛した美術家たち」
~12/22(日)

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

特別展「天下人との邂逅
—海峡の戦国史 第3章—」 ~12/1(日)企画展「毛利元敏—趣味と郷土を愛した
最後の殿様—」 12/6(金)~2/9(日)

~ TOSOH PARK 永源山の中にある美術館 ~

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

- 9時30分~17時(入館は16時30分まで)
- 観覧料: 一般200円(160円) 学生等100円(80円)

()内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

※空調工事等のため、2025年1月10日まで休館

次回展覧会
のお知らせ

※今回は1月11日(土)からです。

企画展

中・小展示室

1月11日(土)▶3月2日(日)

遠藤春生絵画展「或る星の下に」

木や花や生物は、自然の循環に従いながらそれぞれの場所に存在し世界を構成しています。遠藤氏は卓越した描写力で自然の移り変わりや生き物たちのたたずまいを見事に描き出しています。緻密な表現の奥にある、かけがえのないこの地球の息づかいをぜひ感じとっていただけたらと思います。

〈略歴〉

1946年 新潟県生まれ
1996年 雪舟ますだ美術大賞展 特別優秀賞
小磯良平大賞展 入選
(以降 佳作1回・入選3回)
2001年 MBCサムホール美術展 大賞
2002年 FUKUIサムホール美術展 大賞
2005年 第8回川の絵画大賞展 大賞
2017年 東京芸術劇場にて4人展
2023年 イタリア Fabriano in Watercolor
(日本チーム選出)
2024年 日本国際水彩画会 招待
ほか受賞、個展など多数

作家による作品解説
(手話通訳付)

1月11日(土)9:30~

正午までは
入場無料

「蝶の通る道」2004年 アクリル、木、紙・パネル

常設展【同時開催】

大展示室

尾崎正章常設展

「その軌跡をたどる」

尾崎正章(1912~2001)は、ふるさと周南を中心に、人物や港の風景、身近な品々などをモチーフに絵を描きました。

今回は初期から晩年まで、彼の画業をたどる作品を展示します。「白い叙情」と評される白を基調とした作品をはじめ、青みを帯びた色調の瀬戸内の風景、花柄模様を背景にした人物など、テーマや画風の移り変わりとともにご覧ください。

「夜あけ(残月)」1958年
油彩・キャンバス最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。 <http://s-bunka.jp/kyoubi/>ミニコラム
ガス燈

大ホールで開催されるコンサートのほとんどが、準備、リハーサル、本番、撤収を一日で済ませてしまっています。

朝8時スタッフ集合、大型トラックから次々に機材が搬入されます。まず行うのが舞台を傷つけないためのシート敷き。それが済むと吊り込みです。天井から何本ものバトンを下ろし、照明器具、演出に必要な幕やパネルなどを吊っていきます。そして大道具などの舞台装置を組み立てます。平行して客席後方に設けたPA席や調光室で音響や映像、スポットライト、楽屋ではアーティストやスタッフ用のケータリング、ロビーではチケットのざり、物販の準備が進んでいます。

準備が整ったら点検、確認。とても慎重に進められ、結構時間がかかります。そしていよいよアーティスト到着、リハーサルが始まります。本番さながらの音楽や演出は緊張感にあふれています。

開場時間が近づくとロビーはお客様で賑わってきます。中にはアーティストに合わせて着飾った方もいて、わくわく感が満ちています。

いよいよ開演。二時間の公演はアーティストの熱演とアンの熱気でヒートアップ。あっといふ間の夢の時間です。

楽しいひと時も終わり、お客様が退場し客席のドアが閉まると同時に撤収開始です。これが早いものなんの、機材はどんどんトラックに積み込まれ、舞台はあっといふ間に広い空間に戻ります。アーティストとはいえばいつの間にか姿が消えています。

会館内の点検を済ませ、舞台は何事もなかったように眠りにつきます。長い一日が終わりまた迎える次の日の朝。時には何日もコンサートが続く、ポップス、クラシック、ポップス、ポップスと連続したことも。

いつも心がけているのは無事故で公演が終わること。スタッフのプロの仕事に毎回頭が下がります。でもこんなことは忘れてOK。コンサートを楽しんでください。(文化会館)